

コード短絡保護用瞬時遮断機能について

コード短絡保護とは？

コンセント回路以降の電源コードなどで短絡発生時に従来のブレーカでは、動作しにくい低い電流レベルにおいても回路を高速遮断するブレーカです。比較的小さなショートで

の火花発生時に高速遮断し、周辺可燃物への着火による火災の発生を抑えることができます。

内線規程について

2011年に改正された内線規程で、安全性の向上のために、コンセントを有する分岐回路用過電流遮断器として、コード短絡保護用瞬時遮断機能(*)を有した配線用遮断器を施設することが勧告事項に規定されています。

分岐回路に使用する配線用遮断器としてコード短絡保護用瞬時遮断機能を有する配線用遮断器を用いる場合は、JISC8211(住宅及び類似設備用配線用遮断器)に適合したものを使用する必要があります。

※コード短絡保護用瞬時遮断機能とは、コード短絡時に周辺可燃物への着火による火災の発生を抑えるため、コードに流れる短絡電流を瞬時に遮断する機能をいいます。

<出典：一般社団法人日本電気協会「内線規程 JEAC8001」>

JISの改正について(参考)

2004年に改正されたJISC8211、JISC8222には"コード短絡保護用瞬時遮断機能"の考え方が取り入れられています。

コード短絡保護用瞬時遮断機能とは、機器コードの絶縁被覆の劣化によって、心線が線

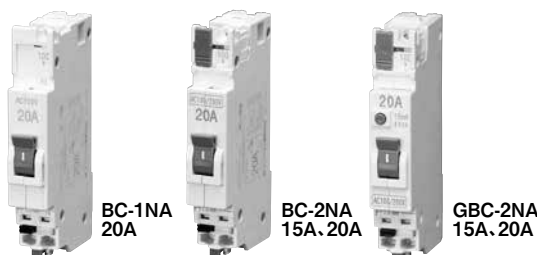
間接触して短絡状態となったとき、周辺可燃物への着火による火災の発生を抑えるため、コードに流れる短絡電流を一定領域以下で瞬時に遮断する機能をいいます。定格電圧100Vおよび100/200Vで**定格電流15Aま**

たは**20Aの遮断器が対象で、瞬時動作電流は、300A(実効値)以下**とするように定められています。

<出典：JIS C 8211住宅及び類似設備用配線用遮断器(3.5.5.3)JIS C 8222住宅及び類似設備用漏電遮断器(3.4.6.3)>

パールテクトブレーカ・パールテクト漏電ブレーカ

住宅用分電盤パールテクト組込用としてコンセント回路以降のコード短絡保護用瞬時遮断機能を備えています。

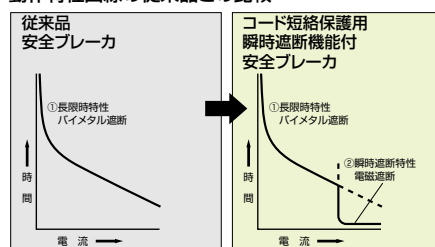


コード短絡保護用瞬時遮断機能付安全ブレーカ

- ①2限時動作特性(長限時特性、瞬時遮断特性)の2つの動作特性を持たせました。
- ②比較的小さなショートエネルギーで遮断可能です。
- ③縦および横の寸法は、安全ブレーカ(B-1EA、B-2EA)と同一寸法であるため、安全ブレーカタイプの住宅用分電盤に組み込み可能です。



動作特性曲線の従来品との比較



コード短絡保護用瞬時遮断機能付ミニイコールブレーカ・ミニイコール漏電ブレーカ

分電盤の高性能化に!

ビル・オフィスのコンセント回路をより安全に!より安心に!

ビル・オフィス、病院、工場などの100Vコンセント回路用分岐ブレーカにコード短絡保護用瞬時遮断機能をとりました。

(内線規程勧告)

従来品(BN-51、GBN-51)と同寸法のため、また、電灯分電盤用協約形配線用遮断器と取り付け互換性があり、既設の分電盤への取り替え、増設が容易です。



動作特性曲線の従来品との比較

